

製品名: AK1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06710**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	AK1
別名	AK1; Adenylate kinase isoenzyme 1; AK 1; ATP-AMP transphosphorylase 1; Myokinase
遺伝子 ID	203.0
SwissProt ID	P00568
免疫原	抗血清はヒト KAD1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

背景

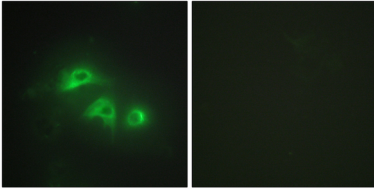
アデニル酸キナーゼ 1 (AK1) ホモサピエンスこの遺伝子は、エネルギー代謝と、さまざまな細胞内区画における細胞アデニンヌクレオチド比の恒常性維持に関与するアデニル酸キナーゼ酵素をコードしています。この遺伝子は、骨格筋、脳、赤血球で高度に発現し

ています。この遺伝子の特定の変異によって機能的に不適切な酵素が生じることで、非球状赤血球性溶血性貧血を引き起こすまれな遺伝性疾患が引き起こされます。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015年12月],触媒活性: $ATP + AMP = 2 ADP$ 。疾患: AK1 の欠陥は、アデニル酸キナーゼ欠損による溶血性貧血の原因です[MIM: 612631]。機能: ATP と AMP 間の末端リン酸基の可逆的な移動を触媒します。エネルギー代謝とヌクレオチド合成に関与する、細胞の維持と成長に不可欠な小さな普遍的な酵素。オンライン情報:アデニル酸キナーゼエントリ,多型:この酵素は、少なくとも5つの対立遺伝子の中で最も共通しています。類似性:アデニル酸キナーゼファミリーに属します。サブユニット:モノマー。,

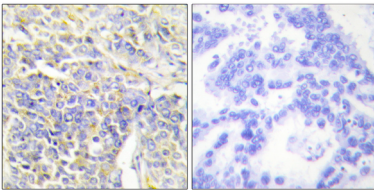
研究分野

プリン代謝

画像データ



KAD1 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態です。



KAD1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。